

三保の森クリニック

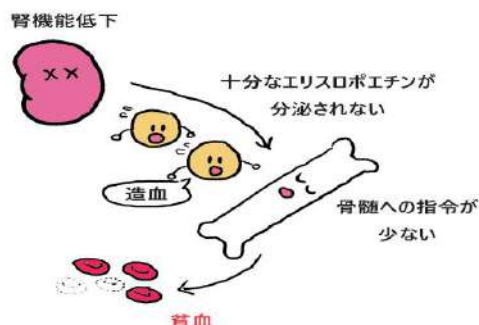
/医療法人 赤枝会 三保の森クリニック
〒226-0015 横浜市緑区三保町195-1
TEL 045-922-5255 / FAX 045-922-5581
WEB SITE <http://www.akaedakai.com/mihonomori>

2024年9号

今回のテーマは腎性貧血治療薬

腎性貧血治療薬

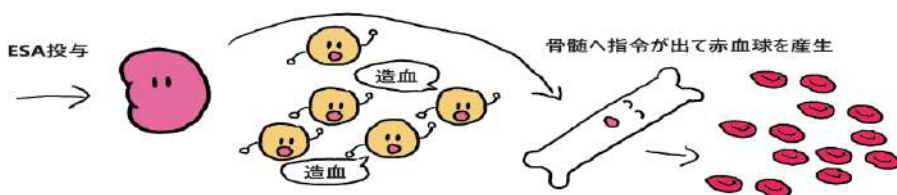
腎臓は造血ホルモン(エリスロポエチン)を分泌しています。エリスロポエチンは骨髄中の赤芽球系前駆細胞に作用し、赤血球の分化と増殖を促進させます。そのため、腎機能が低下すると、エリスロポエチンの分泌が低下し、貧血が進行してしまいます。これを腎性貧血といいます。また、透析患者さんにおいて鉄欠乏も貧血の原因になっている可能性があります。



腎性貧血治療薬の作用

赤血球造血刺激因子製剤(ESA)

造血ホルモンであるエリスロポエチン(EPO)を製剤化したものです。EPOは骨髄内で赤血球系造血前駆細胞に作用し、赤血球産生を促進します。



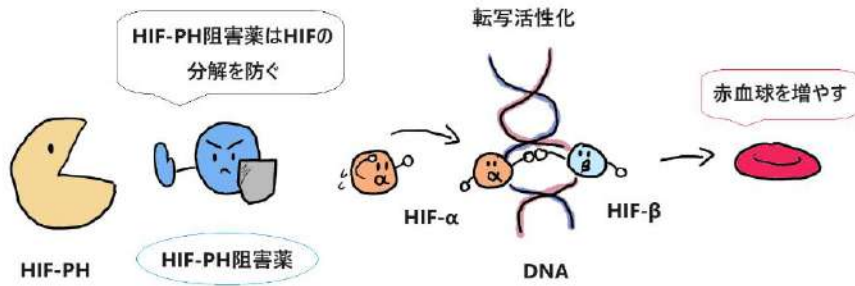
鉄剤

鉄はヘモグロビン合成に欠かせない材料です。経口鉄剤は十二指腸と空腸上部から吸収され、トランスフェリンによって血液中を移動し、骨髄内で赤芽球に取り込まれて、ヘモグロビン合成に利用されます。



HIF-PH 阻害薬

HIF とは、低酸素状態のときに誘導される蛋白質で、EPO 産生や鉄の吸収を促進する働きがあります。低酸素状態ではないとき、HIF-PH という酵素により分解されます。HIF-PH 阻害薬は HIF の分解を防ぐことで、赤血球を増やします。



腎性貧血治療薬の種類

赤血球造血刺激因子製剤

体内でつくられるエリスロポエチンと同じ構造をもつ、エポエチンアルファ (エスポー®)、エポエチンベータ (エポジン®) は血中半減期が短く週 2~3 回の投与が必要になります。血中半減期を長くしたダルベポエチンアルファ (ネスプ®)、エポエチンベータペゴル (ミルセラ®) があります。ESA は他の ESA と併用することはできません。一般にヘモグロビン値 10~12g/dL を目標として投与量を調節します。

薬剤名	一般名	半減期(静注)	用法
エスポー®	エポエチンアルファ	6.0~7.5 時間	維持期:週 2~3 回
エポジン®	エポエチンベータ	8.4~9.7 時間	維持期:週 2~3 回
ネスプ®	ダルベポエチンアルファ	32~38 時間	維持期:週 1 回~2 週 1 回
ミルセラ®	エポエチンベータペゴル	168~217 時間	維持期:4 週 1 回

鉄剤

鉄剤には経口薬と注射薬があり、患者の状況によって選択されます。経口薬の代表的な副作用は胃腸障害です。また、透析患者さんは鉄の吸収が悪いことが多いため、注射薬が選択されることが多いです。注射薬の副作用として胃腸障害、頭痛などがあります。

薬剤名	一般名	特徴
フェロ・グラデュメット®	乾燥硫酸鉄	徐放性製剤。胃腸障害の副作用が軽減されている。
インクレミン®	溶性ピロリン酸第二鉄	シロップ剤。小児に使用される。
フェルム®	フマル酸第一鉄	徐放性製剤。胃腸障害の副作用が軽減されている。
フェロミア®	クエン酸第一鉄ナトリウム	錠剤。胃酸分泌が少なくても吸収されやすい。
フェジン®	含糖酸化鉄	注射薬。希釈はするときはブドウ糖液で行う。
フェインジェクト®	カルボキシマルトース第二鉄	注射薬。希釈はするときは生食で行う。

HIF-PH 阻害薬

HIF-PH 阻害薬は 2019 年に新しい腎性貧血治療薬として承認されました。ESA で効果が低い患者さんに対して有効です。血栓塞栓症やシャント閉塞の発現報告があるため慎重に経過をみる必要があります。ほかの薬剤との相互作用も多いため、併用薬に気をつける必要もあります。

薬剤名	一般名	透析患者さんの用法	相互作用	併用注意薬
エベレンゾ®	ロキサデュスタット	週 3 回	作用減弱	リン吸着薬の一部、多価陽イオン含有薬
			作用増強	プロベネシド
			筋障害	HMG-CoA 還元酵素阻害薬(スタチン系)
ダーブロック®	ダプロデュスタット	1 日 1 回	作用減弱	リファンピシン
			作用増強	CYP2C8 阻害薬
バフセオ®	バダデュスタット	1 日 1 回	作用減弱	多価陽イオン含有薬
			作用増強	プロベネシド(尿酸排泄促進薬)
			併用薬の作用増強	BCRP の基材となる薬剤 OAT3 の基材となる薬剤
エナロイ®	エナロデュスタット	1 日 1 回	作用減弱	リン吸着薬の一部、多価陽イオン含有薬
マサーレッド®	モリデュスタットナトリウム	1 日 1 回	作用減弱	多価陽イオン含有薬
			作用増強	抗 HIV 薬、チロシンキナーゼ阻害薬、トラニラスト



一口メモ 水分管理の工夫



夏の過ごし方...

汗をかくこの季節...

脱水にならないよう水分をしっかり摂りつつも

体重管理は怠らないように...

透析患者様にとっては、なんともなやましい季節ですね。

水分量を調整する為に工夫出来る事を少し書いてみました。

(一日の水分摂取量の目安)

食事から摂取する水分量: 1000~1200ml

飲水量の目安: 500~700ml程度

- ※ 摂取する水分は、あらかじめ飲水量がわかるようメモりのついたポットなどを利用すると管理しやすくなります
- ※ 氷(1個20~30cc)をなめると長時間喉がうるおいや満足感が増します
- ※ お茶を熱くして飲むと飲水量を比較的、少量に抑えられます



※ 調理法の工夫(水をとばす)

蒸す → 煮る → 焼く → 炒める → 揚げる
水分量

多い 少ない

※ 水分量の多い料理を少なめに
汁物、果物、豆腐等

※ 塩分を控える(一日の目安6g)

塩分を多くすると血中の塩分濃度を整えるために水分を欲してしまいます



★災害伝言ダイヤルについて

三保の森クリニック透析患者様と職員で、災害時伝言ダイヤルのテストを行っていますので、ご参加よろしくお願ひいたします。
また、今年の緊急連絡先の確認も合わせて行っておりますので、ご提出お願ひいたします。

三保の森クリニックで透析を受けている患者様

NTT東日本災害伝言ダイヤル171の体験利用を是非お願ひ致します。
防災とボランティア週間の8月30日～9月5日の間、体験利用することができます。
一度体験利用することで、災害が起きた場合に慌てることなく利用していただけるかと思ひます。

三保の森クリニックでは災害時の対策として、171の使い方を患者の皆さまにも覚えていただきたく、この期間に伝言を録音しますので皆様に聞いていただきたいと思ひます。

先日お配りした171の使い方を参考に、実際に電話していただき、録音されているメッセージの中のキーワードをスタッフまでお知らせください。
キーワードを確認することで、171の体験利用の確認とさせていただきますと思ひます。

お手数おかけいたしますが、宜しくお願ひ致します。
何かご不明な点がありましたら、スタッフまでお申し出ください。

NTT東日本災害時171 体験利用

期間 2024年8月30日(金) 9:00 ~ 2024年9月5日(木)17:00

同時に配布した171の使い方を参照に、伝言メッセージを聞いて下さい。
メッセージ内のキーワードを覚えて来て下さい。
録音はクリニックが行います。患者様は録音を聞くのみで、録音することはしないで下さい。

よろしくお願ひいたします。



三保の森クリニックの屋上には自家発電機が設置してあり透析中に地震が起こっても急に電気の供給が停止してしまう心配はありません。
落ち着いて離脱し、安全に非難誘導を行わせて頂きます。



三保の森クリニックでは災害用患者様ファイルを作成し、交通機関のトラブル、怪我などで来院困難になった場合の近隣病院への情報提供や患者様の安否確認等に対応できるよう備えています。



1年に1回非常持ち出し袋のチェックを行い、震災に備えています。



災害はいつやって来るかわかりません。自宅でも災害に備えて準備は出来ていますか？
普段から非常用持ち出し袋を準備しておくとい良いでしょう。

★非常用持ち出し袋の準備例

- 常備薬、救急セット
- お薬手帳のコピー
- 身体障害者手帳のコピー
- 特定疾病療養証のコピー
- 保険証
- 電池、携帯バッテリー
- 飲料水(健常人の半分が目安:1日750ml程度)
- 非常食
- 透析食品
- 靴、スリッパ
- 現金や貴重品
- AM/FMラジオ
- 懐中電灯
- 衣料品
- 生理用品
- 下着類 など





とんぼが孵化しました。



メダカが沢山泳いでいます。

ホテイアオイに花が咲きました。

当院の透析食 Pick up

正面玄関屋根のお掃除
けっこう高い所です～気を付けて～



MENU



- ご飯
- 鰻の蒲焼
- 付) いんげんの塩茹で
- 青梗菜のクルミ和え
- 野菜信田煮
- ロールケーキ (スイカ)
- ほうじ茶

今月は土用の丑の日に鰻の蒲焼を提供しました。
毎日暑い日が続きますが、スタミナを付けて
乗り切りましょう！

9月の検査予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6 レントゲン	7 レントゲン
8	9 血液検査	10 血液検査	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23 血液検査	24 血液検査	25	26	27	28
29	30					